7月
文責 長友
西郷中学校学校便り
学びの坂
活気 和気 根気

今月は、「命」をテーマとした行事を多数開催しました！

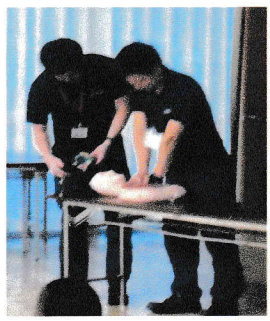
●「命の大切さを考える集会」

「命」について考える全校集会を開きました。中学生のこの時期は、自我が目覚め、自分や他人のことをきちんと考えることができるようになる年齢です。同じように「命」や「死」について考え、理解できる年齢になります。これからの人生で、死んでしまいたいと思うほどの苦しい事があっても、決して投げ出してはいけません。年齢を重ねるごとに、しっかりとした前向きな生き方を見いだすことが大切です。

また、「命」という言葉には、「言いつけ」とか「おおせ」という意味もあります。「使命」という言葉もありますが、これは、「責任を持って果たさなければならない任務」という意味で使われています。その人にしかできない使命がきっとあるはずです。だからこそ、何かっと命を大切にしてほしい、と願っています。

●「救急救命法講習会」

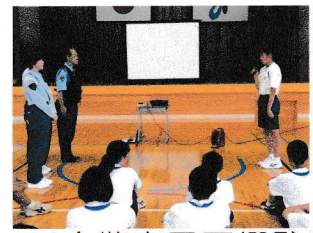
7月9日(月)、日本救急システム救命士を講師に招き、近隣の幼・小・中合同救急救命講習会を開催しました。心肺停止状態の家庭内救助法に変わる強い蘇生法AEDを使った救命法を学びました。



●「薬物乱用防止教室」

7月5日（木）、富高薬局の富井健司様を招き、薬物の恐ろしさについてお話をいただきました。「自分を守るためには、医師・薬剤師・親がくれた薬、それ以外は、例え薬ではなく健康食品だと言われても一切体に取り入れてはいけない。」といった内容のお話も聞き、生徒は「一度薬物を使ったら二度とやめられない。私は絶対に薬物には関わらないと誓える。」といった感想が多かったようです。富井先生による映像を使った、わかりやすいお話に感謝しています。

●「交通安全教室」



日向警察署西郷駐在所の安藤亮二様、日向警察署交通安全協会よりお二人の指導員を講師に招き、主に自転車に関するお話や指導をいただきました。はじめに若者の運転による自転車事故のＤＶＤを鑑賞し、後半は、実際に二人乗りや、重い荷物を載せた運転をもとに指導されるなど、誤った自転車運転による危険性を身近に感じることができました。自分や相手の命を守るためには、何よりも自転車運転のルールやマナーを守ることがまず前提にあることを生徒たちは気づかされたことと思います。

ようこそ西郷中へ！

７月１７日の朝、全校集会で紹介を受けたお２人です。まず、一週間本校に体験学した１年生の石井華凜さん。短い期間でしたが、いつも笑顔が印象的でした。また、この日より、本校に赴任された徳丸優子先生。これから英語の授業、そして、１年の副担任を担当されます。どうぞよろしくお願いいたします。